

事業所名

放課後等デイサービス あおぞら外大前

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025年

3月

19日

| | | | | |
|-----------|-----------------|--|---------|---|
| 法人（事業所）理念 | | 法人：“生きる、楽しく、第二のおうち” 生きていくことが楽しくなるような環境作りを行い、また誰もが居場所になれるような場所を目指します 事業所：“自立に向けて、今できることに取り組む” 一人ひとりが今、取り組むべき様々な課題に取り組んで参ります。 | | |
| 支援方針 | | ・放課後と土・日・祝日の時間を利用し、お子様の将来に向けてできることを取り組んで参ります。具体的には生活に必要な生きる力を養うことや日々の活動の中でお子様の”好き”を見つける経験を行い、個性を伸ばして参ります。 ・職員と共に“できた”を積み重ねていくことで自信を深め挑戦する心を養う。 | | |
| 営業時間 | | 平日 11:00～19:00 土日祝・長期休暇 9:00-18:30 | 送迎実施の有無 | あり なし |
| 支 援 内 容 | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | 【基本的な生活習慣】日常的に行う動作(食事、排泄、荷物の整理、手洗い・うがい、片付け等)を身に付けることができるよう支援を行います。 【生活リズム】生活のリズムと体調との繋がりを意識できるように日々のやり取りの中でお伝えし、健康状態の維持・改善に必要な生活リズムを身につけられるよう支援を行います。 | | |
| | 運動・感覚 | 【姿勢と運動・動作の基本的技能の向上】お子様一人ひとりが持っている感覚・能力を活かし、十分に発揮できるよう活動（紐通しなどの指先支援）・遊び(跳び箱等を使用したサーキット遊び)等を通して支援を行います。 【感覚の特性への対応】まわりのざわつきが気になるなど感覚過敏に関連する困りごとに関して本人自身も理解し、解決策の見通しを持たすことで精神的安定を図ります。 | | |
| | 認知・行動 | 【認知・行動】一人ひとりの認知の特性を把握し、個々に応じた伝え方で事業所内で守るべきルールを伝え、認識してもらう。 活動等、事前の通しが大切になってくるお子様が多く在籍しているので、ホワイトボードでスケジュールを書いて視覚化させたり、お子様との対話の中でこれから行う事柄に関しての不安な気持ちを取り除いていく。 | | |
| | 言語 コミュニケーション | 【言語・コミュニケーション】困りごとが合っても、その時に伝えられない場合があります。職員がその都度、お子様の様子を見ながらお話をさせて頂き、お子様が言語化できるよう言葉を引き出しながら、心の中にある思いを汲み取ります。 言葉で伝えることが難しい場合は絵カードの使用や指差し、身振り、サインを身につけることで言語以外で本人の思いを伝えることができるよう練習を行います。 | | |
| | 人間関係 社会性 | 【仲間づくり】遊びや活動を通して色々な学年のお友達と関わる中で、お互いの価値観などを知りお互いが尊重し合えるよう環境作りを行います。 【社会性】公共交通機関の利用やお買い物活動を通して将来の生活に結び付けられる経験を行います。 | | |
| 家族支援 | | ・送迎時やLINEを利用することで、過ごし方の共有を行っております。 ・適宜、面談の機会を設けております。 ・ご利用に関して職員配置等が整っていれば可能な限り、受け入れさせて頂いております。 | 移行支援 | ライフステージの変化に合わせ、ご要望に合わせ関連機関へ引継ぎや書類作成を行います。 |
| 地域支援・地域連携 | | 地域の学校・相談支援・併用事業所・他事業所・その他関連機関との連携を行い会議等に参加することで情報共有を行いながら支援の足並みを揃えていきます。 | 職員の質の向上 | ・お子様を預かる上で必要となってくる知識・対応方法・危機管理などの職員研修を行っております。 ・職員の資格取得に向け、会社がサポートしてくれる環境です。 |
| 主な行事等 | | ・季節ごとの行事(ひな祭り、BBQ、夏祭り、ハロウィンパーティー、クリスマス会、進級・卒業パーティー) ・自転車に乗る練習、お買い物活動、公共交通機関を利用した外出活動、スポーツセンターでの体幹遊び | | |